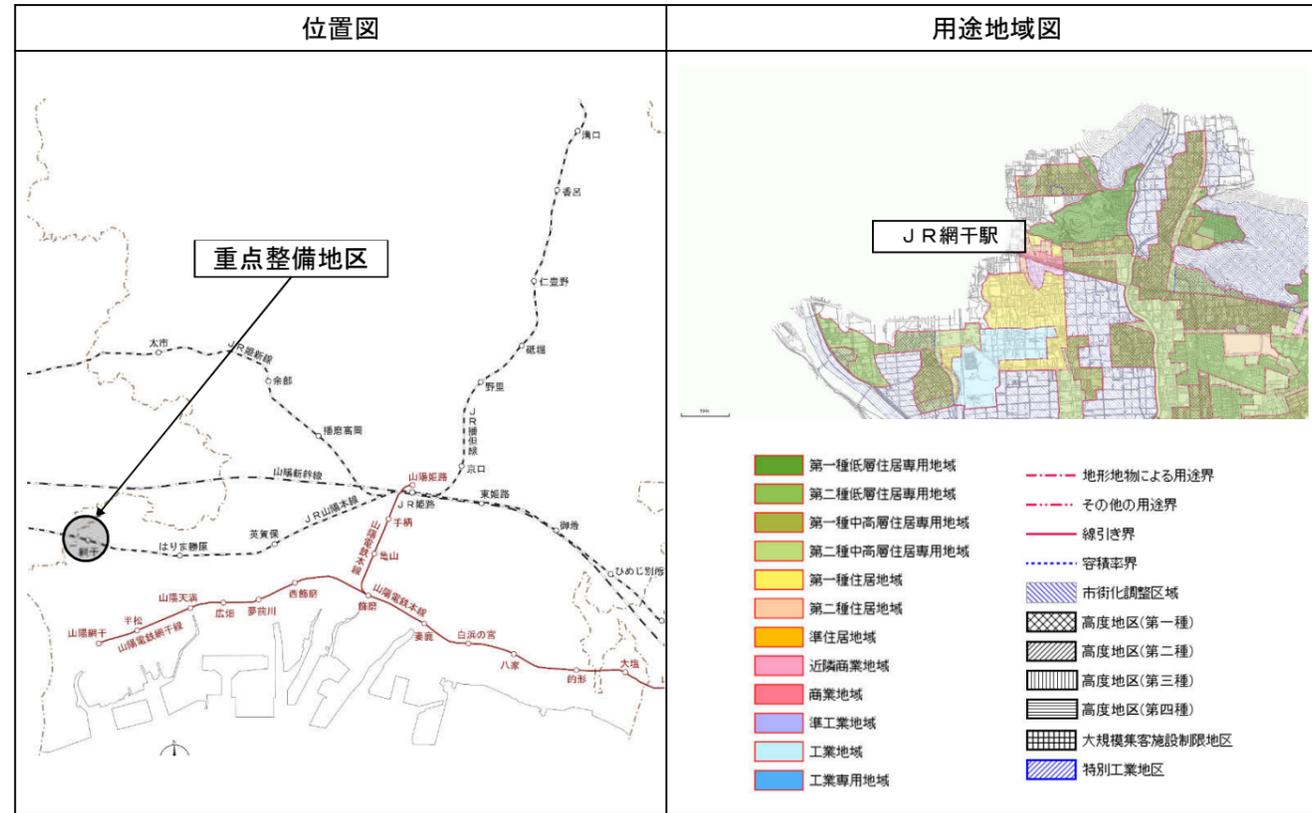


**JR網干駅周辺地区【概況】**



**地区特性**

**【データ】**

**(1) JR網干駅**

① 1日平均乗降客数…15,518人/日（令和元年度）

**②駅の概要**

- ・構造……………地上
- ・駅舎……………橋上駅
- ・ホーム……………相対式・島式2面3線
- ・改札口……………1

**③駅前広場の概要**

- ・面積……………(北)2,564㎡（事業中）
- ……………(南)4,000㎡（都市計画決定）
- ……………1,957㎡（供用部）

**④バスバース数……………(南)4**

**⑤タクシーバース数……………(北)1**

**⑥自由通路（跨線橋）**

- ・橋上駅併設型1基
- ・階段……………(北・南)各1
- ・スロープ……………(北・南)各1
- ・エレベータ……………(北・南)各1

**【地区の特性】**

- ・JR網干駅は、操車場があることから新快速電車の始発駅となっている。また、西側に太子町が隣接し、たつの市などを含め周辺市町の最寄り駅になっているため、1日当たり乗降客数15,518人（令和元年度（2019年度））と姫路市内のJR駅の中では姫路駅に次いで2番目に乗降客の多い駅となっている。
- ・駅周辺は主に住居系の土地利用となっており、駐車場・駐輪場利用も多く見られる。
- ・JR網干駅周辺地区は、総合計画の中では「多核連携型都市構造の地域交流拠点」として位置づけられている。
- ・駅周辺地区には、駅の南側に主要な施設として金融機関等が分布している。
- ・駅南側の幹第42号線には7系統のバス路線の停留所が4箇所整備されている。その他は、タクシープールや自家用車駐車場などの交通結節機能は有していない。なお、タクシーについては駅前広場から約50m離れた場所にタクシー乗り場がある。
- ・駅北側は、JR網干駅前土地区画整理事業が進められており、今後駅前広場が整備される。

**地区特性**

**【バリアフリーから見た主な現況と課題】**

**① 鉄道駅**

- ・駅舎はバリアフリー化が進められており、駅構内におけるエレベータや幅広改札口、多機能トイレ、ホーム端の転落防止柵等の整備が完了している。
- ・橋上駅に併設して自由通路が整備されており、駅北側及び南側へは階段やスロープでの移動となっていた。スロープは、勾配が急で踊り場もなく、車いす利用者が自力で移動できる構造ではないが、平成22年度（2010年度）に南北にエレベータが整備され、バリアフリー化が図られている。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの連続的な敷設や、階段の段を容易に識別できる整備が課題である。

**② 駅前広場（南側）**

- ・鉄道駅からバス停留所の場所が分かりにくく、駅自由通路に簡易的な案内サインが設置されているが、誰もが認識できる大きさの案内サインの整備が課題である。
- ・障害者用駐停車帯の整備が課題である。

**③ 道路（南側）**

- ・バス停留所付近では歩道も狭く、ベンチや標識の設置場所を検討する必要がある。

**JR網干駅周辺地区【関連事業計画】**

JR網干駅前土地区画整理事業		資料：区画整理課HP
整備の目標	本地区は、姫路市の西の玄関口であるJR網干駅の北側に位置しています。この事業は、都市計画道路龍野線の整備に合わせ、都市計画道路網干線、都市計画道路網干駅北線および駅前広場を整備することにより、JR網干駅北側と都市計画道路龍野線のアクセスを確保するとともに、土地区画整理事業により都市基盤整備を行い、併せて宅地の利用増進を図ることにより、都市機能と生活環境の調和した良好な市街地の形成を目指します。	
施行者	姫路市	
施行区域面積	5.0ヘクタール	
減歩率	18.03%(公共18.03%)	
施行期間	平成25年(2013年)10月4日～令和9年(2027年)3月31日	
都市計画決定	平成25年(2013年)3月5日	
事業計画決定	平成25年(2013年)10月4日	
事業計画(第1回変更)	平成27年(2015年)8月28日	
事業計画(第2回変更)	令和2年(2020年)6月26日	

JR網干駅周辺地区【現況図】

